

「【生活者に聞!】第12回 クレジットカードと電子マネーの利用状況について」ダイジェスト

メインカードは“ポイント付与”と“使えるお店が多いこと”が重要。 プリペイド式電子マネーは“使いやすい”と評価。

詳細は月刊『アイ・エム・プレス』 Vol.190(2012年3月号)誌上で！

株式会社アイ・エム・プレス（東京都文京区）は、月刊『アイ・エム・プレス』掲載の連載「生活者に聞く!」シリーズ（調査主体：(株)アイ・エム・プレス／調査協力：(株)ドゥ・ハウス）で、クレジットカードと電子マネーの利用状況について調査を行いました。同調査結果のダイジェストをお届けします。

<調査の概要>

調査期間:2012年1月16日(月)~18日(水)
調査方法:(株)ドゥ・ハウス myアンケート light
調査対象:首都圏・近畿圏在住の20~60代の男女

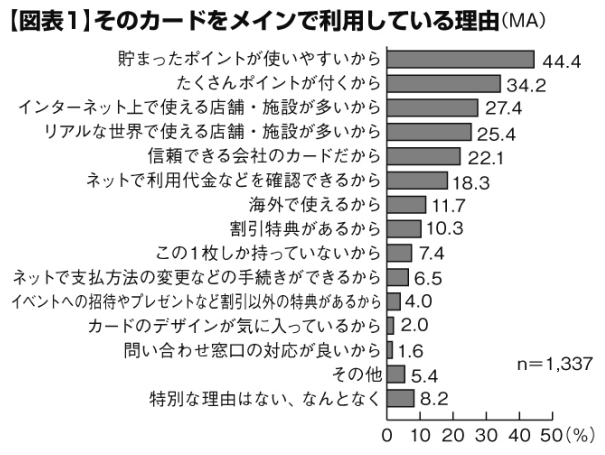
サンプル数:1,480
調査主体:(株)アイ・エム・プレス
調査協力:(株)ドゥ・ハウス

<調査結果紹介>

●メインで使うクレジットカードに求めるのは ポイントが“使いやすい”“貯まりやすい”ことと 利用できる店舗・施設の多さ

1枚でもクレジットカードを持っている人に対して、過去1年間に2回以上利用した（口座引き落としがあった）カードの枚数を聞いたところ、「1枚」が33.6%、「2枚」が30.2%、「3枚」が19.2%、「4~5枚」が11.4%、「6~9枚」が1.8%、「10枚以上」が0.5%で、「1年間に2回以上利用したクレジットカードはない」が3.3%。

また、メインで利用しているクレジットカードについて、そのカードをメインにしている理由を聞いたところ、「貯まったポイントが使いやすいから」が44.4%でトップ、次に「たくさんポイントが付くから」が34.2%、「インターネット上で使える店舗・施設が多いから」が27.4%、「リアルな世界で使える店舗・施設が多いから」が25.4%などとなっていた（図表1）。メインカードを決める上では、ポイントの使いやすさ、貯めやすさと、利用できる店舗・施設の数が重視されている。

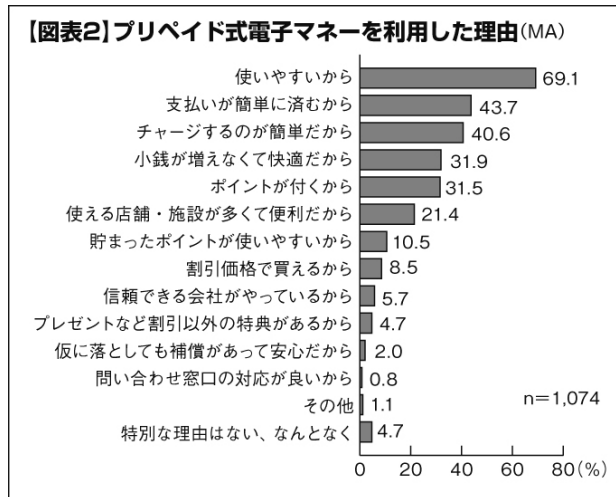


●プリペイド式電子マネーを使っているのは7割強

“使いやすい”“支払い・チャージが簡単”と評価

プリペイド式電子マネーに関しては、72.6%が過去1年間に利用したことがあると回答。使ったのは、「Suica、PASMO、ICOCAなどの交通系の電子マネー」が58.2%で最も多く、「Edy」が23.0%、「nanaco」が17.4%、「WAON」が13.6%、「その他」が1.4%であった。

プリペイド式電子マネーをこの1年間に利用した人に、その理由を聞いたところ、「使いやすいから」が69.1%、「支払いが簡単に済むから」が43.7%、「チャージするのが簡単だから」が40.6%と、使いやすさが支持されていることがわかる（図表2）。記名式の電子マネーでは、紛失などの際に残額が補償されるサービスがあるが、「仮に落としても補償があって安心だから」は2.0%と回答比率が高くなく、一方、「小銭が増えなくて快適だから」が31.9%と3割以上に上っているなど、安心面より快適性で選ばれ、使われている様子がうかがえた。



調査結果の詳細は、2011年2月25日発行の月刊『アイ・エム・プレス』Vol.190（2012年3月号）に掲載いたします。月刊『アイ・エム・プレス』Vol.189の詳細は、<http://www.im-press.jp/magazine/> から。

「アイ・エム・プレス」Web サイトから
「生活者に聞く!」のより詳細な調査結果をお申し込みいただけます（無料）。
<http://www.im-press.jp/magazine/1000s.html>

インターネットが企業と生活者、そして企業と企業をつなぐ時代。従来からの競合の概念は大きく変化し、顧客主導型経営の重要性が叫ばれています。月刊『アイ・エム・プレス』では、このような“変革の時代”に勝ち残るための顧客づくりのヒントを、年間定期購読システムによりお届けしております。

<株式会社アイ・エム・プレス>

代表取締役社長： 西村道子 / 設立： 1989年10月19日

業務内容： 出版、セミナー企画、調査、編集

〒113-0033 東京都文京区本郷2-14-14 ユニテビル6F

<本リリースに関する問い合わせ先>

(株)アイ・エム・プレス 編集部 / edit@im-press.jp までお気軽にお問い合わせください。

TEL : 03-3815-8991 / FAX : 03-3815-8957 / URL : <http://www.im-press.jp/>